

委員会レポート

総務委員会

市特別職の職員で常勤のもの
給与及び旅費に関する条例の
一部改正

Q 特別職報酬等審議会で、選挙管理委員会の報酬を議論したか。

A 執行委員を含む行政委員の報酬は、現状のままが適当である旨の意見であった。

平成24年度一般会計予算

Q 地方自治法の改正で、総合計画の策定義務がなくなったが、今後は任意で策定するのか。自治基本条例の中で、うたわれるか。

A 総合計画は、市の総合的かつ計画的な市政運営を行うため、必要な計画で策定するべきものと考えている。

自治基本条例の掲載は、市民委員の意見をつかがい進めていく。

Q 前納報奨金は、県内で廃止されている市町村はあるが、現状は。ま

た、市は廃止する予定はあるか。

A 平成25年度以降市県民税、固定資産税の前納報奨金制度を続ける市は愛西市を含め4市。前納報奨金は、自主財源の早期確保というメリットがある反面、市県民税は、特別徴収の方には適用されないという不平等感が事実で、県内の動向を踏まえた上で、慎重に検討を重ねている。

平成24年度

土地取得特別会計予算

Q 購入財産購入費で2億8千万円が計上されているが、執行予定があるのか。

A 具体的な予定はない。

Q 基金の金利は何%で予定されているのか。

A 全ての基金の金利を合わせて0・35%で予算計上している。

文教福祉委員会

市図書館の設置及び管理に
関する条例の一部改正

Q 図書館協議会の委員数と、年間会議日数及び協議内容は。

A 委員は8名で構成され、会議は年2回の定例会と必要に応じて開催し、協議会の内容は、年間の図書館活動運営計画・前年度活動実績報告・利用者に対する運営の仕方を協議している。

市ちびっ子広場設置条例の
一部改正

Q 昭和ちびっ子広場で道路に出るとき安全対策は。

A 道路に接しているので1m80cmの高さのフェンスを設置する。

一般会計補正予算について

Q 人工透析患者の、一人当たりの医療費と負担割合は。

A 月額平均40万円程かかる。補正をしたのは生活保護受給対象の方で、全額支援が必要であるから、負担割合は、国が二分の一、県と市が四分の一。

平成24年度一般会計予算

Q ファミリー・サポート・センター事業委託料で、契約満期の折にどのような評価をするのか。また、契約は1年契約だが、毎年公募はするのか。

A 実績・講習会の内容などを書類審査し評価している。その評価で継続をしている。公募については、地域の団体の状況を見ながら考えていく。

Q 保健師が近隣自治体に比べて多いと思うが、保健活動はどのようになっていくか。

A 合併して、旧町村の保健師がいるので多いのは事実。経過が必要な、発達に障害がある子の親とのかかわ